令和７年度　御館山小グランドデザイン　Ver. 1（R7.4.1）

【学校教育目標】

心豊に、たくましく生きる児童の育成

令和７年度スローガン

笑顔あふれる「み」「た」「ち」「や」「ま」

見つけよう夢を　高めよう志へ　知恵と　やる気と　真心で
助け合おう友と

【めざす学校像】

○ 笑顔があふれた学校（安心・安全・居場所）
○ 子どもも教師も学び合う学校（成長の実感・人材育成）
○ 誇りをもてる学校（母校愛・自校肯定感）
・より良い学校を目指し、児童自らが考え動く学校

【めざす教師像】

○児童を知り、共に喜び・悩み・考え・汗を流す教師
○学び合い高め合う教師、自分に何が出来るかを考え動く教師
○目標を共有し挑戦する教師、夢を語れる教師
○自らの姿で範を示す教師（指導の説得力）

【めざす児童像】

やさしい子（真心）にこにこ ＜徳育＞

『いつでも・どこでも・だれとでも』

◎相手を思いやる行動ができる子
・「大丈夫？」「手伝おうか？」が言える子
・誰に対しても同じ態度で接する子
○進んであいさつができる子
○場に応じた行動ができる子

①他を思いやる心の育成
・道徳教育、人権教育の充実
＊無自覚な差別意識の根絶
＊当たり前（思い込み）を見直す
・平和教育の推進
＊命の尊さの実感

②だれ一人取り残さない教室
・細やかな児童理解
・正しい相互理解（特別支援教育の充実）
・児童一人一人に寄り添う指導の充実
・困っている子に「何ができる？」の意識
・保護者・関係機関との積極的連携

③積極的な生活指導
・「全校で取り組む実践・成長の場」としての生活指導
・成長を感じ意欲を高める生活指導

まなぶ子（知恵）こつこつ ＜知育＞

『学びをつなげる』

◎自ら進んで学びに向かえる子
・既習を生かして学ぼうとする子
・授業の流れを理解し見通しを持って学べる子
○基礎的な知識及び技能を習得できる子
○思考力・表現力・判断力を活用できる子

①校内研究への取組を中心に据えた学力向上
・児童に浸透する研究へ
＊授業の流れの明確化
＊「御館スタイル」の明瞭化
⇒自信を持って授業に臨む児童
・職員同士の日常的な学び合いによる授業力向上
＊職員も学び合う学校
＊校内研・初任研・若手研の効果的活用
⇒「教師も育つ学校」
・学習規律、学習習慣の定着
・ICT機器の有効活用
・「交換授業」の推進（やれるところから）

②自己肯定感を高める評価活動
・個々に応じた適切な目標を持たせる
＊「どうせ自分は」⇒「できるかも？」
・肯定的な評価を常に意識
＊良さを認める、成長を喜ぶ
⇒学習意欲の向上

がんばる子（やる気）わくわく ＜態育・体育＞

『何ができる？どう動く？』

◎目標に向かって挑戦する子
◎「何ができるか」を考え行動する子
○がまん強く集中できる子
○進んで体を鍛えることができる子

①憧れや目標の具体化
・「PDCAサイクル」を明確にさせた実践活動
＊「目標設定」「見通し」「自己評価」
⇒「達成感」⇒「次への目標」

②児童の自主性を応援する環境作り
・委員会活動、縦割り活動等の更なる主体化
・全校みんなで目標を達成し喜び合う取組
・目標を共に語り励ます教師

⇒児童が「自分たちに何が出来るか？」を考え、自らの行動で、より良い学校づくりを行う。下級生が「あんな上級生になりたい」と、身近な憧れを目標に学校生活を送る御館山小学校の基盤作りを！

③体力向上
・心身の体力育成（最後までやり抜く心と身体）

①心身の健康　・規則正しい生活　（※特に「早寝」「メディアコントロール」）

②感染症対策　・「基本的対策の凡事徹底」（必要に応じた効果的対策の継続）

特別支援教育
・個々の個性を大切に
★正しい相互理解の促進
・保護者・関係機関との連

人権・平和教育
・人権教育の充実
（★当たり前を見直す）
・長崎県に育つ児童への平和教育
・人権・平和を日常に・・・

教育環境の整備
・心身の安全を補償する環境整備
（★日常の安全点検への意識）
・学習活動充実のための整備
・明るい環境、季節を感じる環境

健康・安全指導・食育
・衛生環境の保持
・衛生、健康、正しい食習慣の定着
・児童自身の危機管理意識の向上
（★自分の命は自分で守る）

読書指導
・夢、憧れを育む読書指導
・オープン図書室の効果的運営
・図書ボランティアさんとの効果的連携

家庭・地域との連携（地域と共にある学校）

○PTA活動の充実（効果的なPTA活動の在り方の模索）
○学校支援会議との更なる連携強化（地域人材の積極的効果的活用）
○明峰中学校区の幼保・小・中連携（１２年間の育ちを見据えた連携）

働きがいのある職場

○『働き方改革』の推進
○「風通しの良い職場」「何でも相談できる職場」
○「互いに認め合い個々の個性が発揮できる職場」